



テーマ

Theme

「お金は大切に使おう」

学校・園名

School name

草津市立常盤小学校(3年生)

講師等

Lecturer etc.

滋賀県金融広報委員会

実施日

Date

平成 25 年 11 月 1 日

教科等

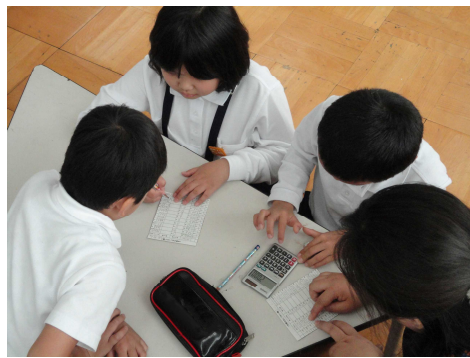
Subject etc.

道徳

授業
Class

学校の先生から「正しい金銭感覚を養うための学習をしたい」というご相談があり、連携授業が実現しました。まずは、現在使えるお金（硬貨、紙幣）を確認し、講師からの「お金があれば何が出来るの？」という問いに、お金があれば、モノが買える・売れる、貯金する…など様々な意見が出ました。そして、「お金があれば何でも買えるの？」という問いには、命や欲しくてもお金が足りなければ買えない…など、お金で買えないコトもたくさんあり、遊園地などではお金を使うことで、モノではなく思い出が残ることなどにも気づきました。

後半は、みんな一緒のおこづかい（基本は 500 円）を毎月もらうと仮定して、おこづかい帳に記入しながら、その仮定のお金でモノを買ったり、貯めたりする体験をしました。体験店で売っているモノ（カードで）は、150 円のプリン～1万円のゲーム機などがありますが、勿論、持っているお金の範囲でしか買えません。途中で、ケーキなどを買ったり、高額なモノをねらってひたすら貯めるお友達もいて、持っているお金には差が出てきました。高額なモノを買おうとしているお友達は、最初「おこづかいが少なくて買えるわけがない」と言っていました。貯めたら買えるようになりました。このように、今どれくらいのお金があるのかを自分で把握しながら、お金をどのように使うかを考えることはとても大切だということ学びました。

感想
Impression

児童より Impression from Children

- 銀行で貯金をすることがわかりました。
- お金をむだづかいしていたけれど、お金の大切さがわかりました。これからお金を大切にしていきたいです。

学校より Impression from school

実物のお金を見せてくださったので、子どもたちがあまり手にしたことないと思われる紙幣についても理解が深まったと思います。おこづかい帳を書く体験をしたので、これから自分でお金を管理する時に役立つと思います。保護者の方にも参観してもらったので、家庭でお金の使い方について考える機会になりました。

講師の方より Impression from lecturer

「おこづかい帳」と「買い物カード」を使った体験学習が、想像以上に盛り上がりよかったです。「お金のことをどれだけ知っているか」という質問をいくつかしましたが、いろいろな意見を聞いている中で、3 年生でも、知っていることは多いのだということに感心しつつも、この時期に間違った知識や情報を身に付けてしまうとあとから直すのは大変だなと感じました。特に「友だちのお金を借りていい？もらっていい？」という質問が多く驚きました。大人の世界でも「カードローン」などの手軽な利用による多重債務問題がありますが、「自分が持っている範囲のお金を利用する」という点については、この時期からの教育が大切だと感じました。

児童へのメッセージ

「お金」って、これから先、大きくなってもずっと必要なものだから、正しい知識を持って上手に付き合いしていくことが大切です。お金と上手に付き合いするためのポイントは、「お金の使い方」にあります。手元にあるお金だけではできなかったことも、少し我慢をして貯金をすると、実現できることも知りましたね。目の前にお金だけを見るのではなく、自分が本当にやりたい事や欲しいモノが何なのかな、ということを考えるようにしましょう。そして、「お金を使う」ということによって残るモノは「買った商品」だけではなく、「家族や友達との楽しい思い出」ということもあります。もちろん、世の中には「お金で買えないもの」もたくさんあります。この授業をきっかけに、「お金と仲良くなる」ことを目指してみてください。